

A 同組合は昨年11月に、本県で開催した伝統的工芸品の全国大会で学生と連携し、新しいデザインの高ボールカップなどを製作。若い世代の関心を集め売り上げを伸ばした。この結果を踏まえて組合では、新しい視点を取り入れた



神崎 聡
(田川郡)

緑友会

上野焼の振興を図るための上野焼協同組合への支援について。

A 昨年度、北九州・京築地域の市町と連携し、お勧めのモデルコースの開発やガイドブックの作成、北九州マラソンの開催に合わせた北九州・京築フェアなどにより、地域の魅力を発信した。さらにサイクルツーリズムにも取り組み、広域モデルルート「門司港上毛」を決定した。今後も県域をまたぐサイクルツーリズムの提案など新たな観光ルートを開発していく。



壹岐 和郎
(北九州市小倉北区)

北九州・京築地域への誘客と中国・四国を含めた観光ルートの開発について。

し、保護者に配布しているが、前回の改訂から7年が経過し、医療環境も大きく変化していることからリニューアルする。その際には医療関係者や保護者などの意見を聞き、先輩保護者の応援メッセージを記載するなど工夫が施されている先進事例も参考に、温かみを感じられるよう内容を充実させた。

A 県民生活の安心や向上に全力投球してきたが、引き続き「働く」「暮らす」「育てる」という生活の基本を大切にしながら、各地域の強みと可能性を最大限に発揮させて、もっと元気でさらに良い福岡県にしていきたい。



古川 忠
(福岡市早良区)

真政会

小川県政の8年間、知事は多くの課題について真剣に、日々努力を重ねてきた。特に相次いだ大水害の復旧復興に注力した事を県民も高く評価していると思うが、三選を表明した知事が、次の4年何を指すのか問う。

A 国のTPP関連対策予算を最大限活用した農業施設の整備や、本県独自の対策として高性能機械の導入による生産コストの低減などに取り組んでいる。さらに、バイヤー招へいによる輸出促進や販売・消費の拡大を図るなど攻めの農林水産業を目指している。こうした取り組みを通して本県の農林水産業の競争力強化に取り組んでいく。

商品開発や需要開拓などを盛り込んだ振興計画を策定中である。県は国や福岡市と連携してこれを支援。計画に基づく事業実施において、県としても助成し振興を図る。

国内外との競争に勝ち抜くため、本県農業の競争力強化にどのような取り組みを行うのか。

平成31年度暫定予算の概要

例年2月定例会では翌年度の当初予算を審議しますが、平成31年度当初予算については、4月に統一地方選挙が行われるため、4月から7月までの4か月間に必要な行政運営経費を計上する「暫定予算」となります。

ここでは、2月定例会で可決された一般会計7,061億3,000万円(対前年度当初予算比40.8%)、特別会計(15会計の総額)2,386億4,500万円(同24.2%)の暫定予算のうち、主なものをご紹介します。

- 防災・行政情報通信ネットワークを再整備 **39億6,105万9千円**
・災害に強い高速・大容量の通信ネットワークを構築
- ラグビーワールドカップ(RWC)2019を福岡で開催 **5億5,189万6千円**
・9月26日 イタリアVSカナダ
・10月2日 フランスVSアメリカ
・10月12日 アイルランドVSサモア
- 市町村における保育所・認定こども園等の運営を支援 **72億6,033万4千円**
・保育の受け皿拡大等に伴う利用人員の増加見込分を確保
・保育士確保のため、賃金の1%の処遇改善を実施
- 中小企業の円滑な資金繰りを支援 **融資総枠6,884億円**
・中小企業向け制度融資を実施
- 被災した道路や河川等の復旧を加速化、災害の再発防止対策を推進 **226億7千円**
・道路や河川、砂防施設の復旧
・災害復旧と併せて行う道路や河川の改良工事、砂防ダムの設置等を実施
- 女性警察官の採用・登用を拡大【新規】 **893万3千円**
・SNS等を活用した効果的な採用募集奨励活動を実施 ほか
- 北九州空港の利用を促進 **1,536万6千円**
・海外の旅行会社による北九州空港国際線を活用した旅行商品の販売を支援
- 市町村における介護サービスの提供を確保 **197億8,021万2千円**
・高齢者等が利用する介護サービスにかかる費用の一部を負担
・低所得高齢者の介護保険料軽減を強化【拡充】
- フードバンク活動を支援し、食品ロスを削減 **1,347万3千円**
・食品提供企業の開拓や食品の受入窓口・管理の一元化により、持続可能なフードバンク活動を支援
- ため池等の安全対策を推進 **32億4,048万2千円**
・ため池、農業用ゲート、用排水ポンプ等の老朽化対策を実施
- 被災者の住宅確保を支援 **14億3,730万6千円**
・朝倉市、東峰村から受託し、災害公営住宅等を整備
・仮設住宅等からの引越費用、民間賃貸住宅入居の初期費用を助成【新規】
- 良好な教育環境を確保 **86億6,214万6千円**
・「福岡県立学校施設長寿命化計画」に基づく大規模改築、トイレ改修等を実施



平成30年度補正予算を可決

2月定例会では、上記の暫定予算のほかに、平成30年度の補正予算として年度内に措置する必要がある経費を補正するほか、国の補正予算を最大限に活用し、「豪雨災害復旧・復興」、「防災減災」などに取り組むための補正予算案が審議、可決されました。

以下、2月定例会で可決された一般会計補正予算のうち、国補正関連事業分355億6,800万円の主なものをご紹介します。

- 豪雨災害復旧・復興
 - 災害復旧の効果を高め、災害の再発を防止 **40億4,768万円**
・災害復旧と併せて行う河川、道路の改良工事を実施
・土石流や地すべりが発生した箇所に砂防ダム等を設置
- 防災減災
 - 災害時における交通ネットワーク機能を維持、強化 **142億6,047万4千円**
・緊急輸送道路を整備、道路法面の崩壊・落石対策等を実施 ほか
 - 洪水・土砂災害防止、港湾の老朽化対策等を推進 **76億1,826万円**
・河川の護岸、砂防施設、地すべり防止対策施設等を整備
・港湾施設の老朽化対策工事を実施、高潮対策のための護岸等を整備
 - ため池、クレーク等の安全対策を実施 **25億4,540万円**
・ため池、クレーク、農業用排水施設等を整備
・農業用ハウスの補強や防風ネットの整備費用を助成

